

地方創生拠点整備交付金（第2回）の活用状況（生涯活躍のまち分野）

- 地方創生拠点整備交付金（平成28年度第二次補正予算）により、地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援。
- 地方公共団体が「生涯活躍のまち」分野として活用する交付金事業は、12事業（1府10市町村）であり、一覧は下表のとおりとなる。

※平成29年4月28日内閣府地方創生推進事務局「地方創生拠点整備交付金の交付対象事業の決定（第2回）について」より作成

生涯活躍のまち分野の事業に交付金を活用した団体一覧

県・市町村名	事業名	交付金 (千円)
福島県本宮市	元気いきいき生涯活躍プラチナのまち もとみや 多世代交流施設整備計画	84,258
埼玉県松伏町	松伏町「みんなの良(居)場所」づくりプロジェクト	40,255
福井県坂井市	坂井「わがごと・まるごと」地域の元気創出拠点整備事業	62,400
長野県南箕輪村	人口増・子育て女性応援の村、南原保育園施設整備計画	50,000
長野県南箕輪村	大芝高原「楽・わく・健康スペース」屋内運動場整備計画	50,000
静岡県小山町	小山町パークゴルフ場管理休憩棟整備事業	15,696
三重県名張市	市民総活躍を叶える“元気・交流”拠点整備事業	26,549
京都府	「高齢者共生型まちづくり」施設整備計画	99,950
広島県安芸太田町	安芸太田町版「生涯活躍のまち」戸河内エリア拠点施設整備計画	80,454
広島県世羅町	子育ての現役世代ベテラン世代交流施設整備事業	86,351
山口県宇部市	まちなか活力再生「稼ぐ力」創出拠点整備計画	45,000
香川県宇多津町	雇用・地域所得向上に資する世代間交流センター整備計画	98,500

地方創生拠点整備交付金

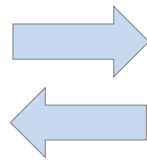
28年度第二次補正予算 900億円（事業費ベース 1,800億円）

事業概要・目的

○ 未来への投資に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を推進するための交付金を創設。

- ① ローカルアベノミクス、地方への人材還流、小さな拠点形成などに資する、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援
- ② KPIを伴うPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組

具体的な
「成果目標(KPI)」
の設定



「PDCAサイクル」
の確立

事業イメージ

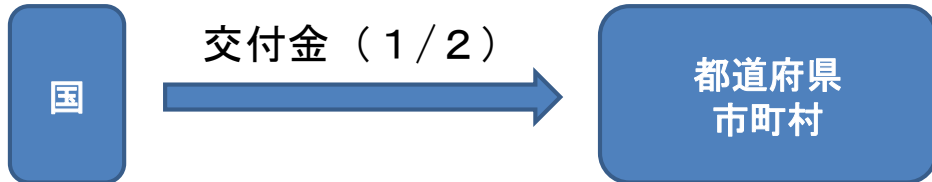
【主な対象施設のイメージ】

- ローカルイノベーションに資する公設試験研究機関（附帯設備を含む）の改修等
- 地域経営の視点に立った観光地域づくりに効果的な観光施設の改修等
- 地域全体としてのブランディング戦略の確立に資する収益施設等（6次産業化施設等を含む）の整備
- 生涯活躍のまちの推進に資する多世代交流の拠点施設（既存施設の改修等を含む）の整備
- 移住定住促進のために行う空き施設の改修等
- 小さな拠点づくりに資する地域コミュニティ組織の日常的な活動の場として機能する基幹的な拠点施設の整備（廃校舎、旧役場、公民館等の改修を含む）

【手続き】

- 地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画を作成し、内閣総理大臣が認定。

資金の流れ



期待される効果

- 未来への投資につながる施設整備等を行うことにより、地方における安定した雇用創出、地方への新しいひとの流れ、まちの活性化など地方創生の深化に寄与